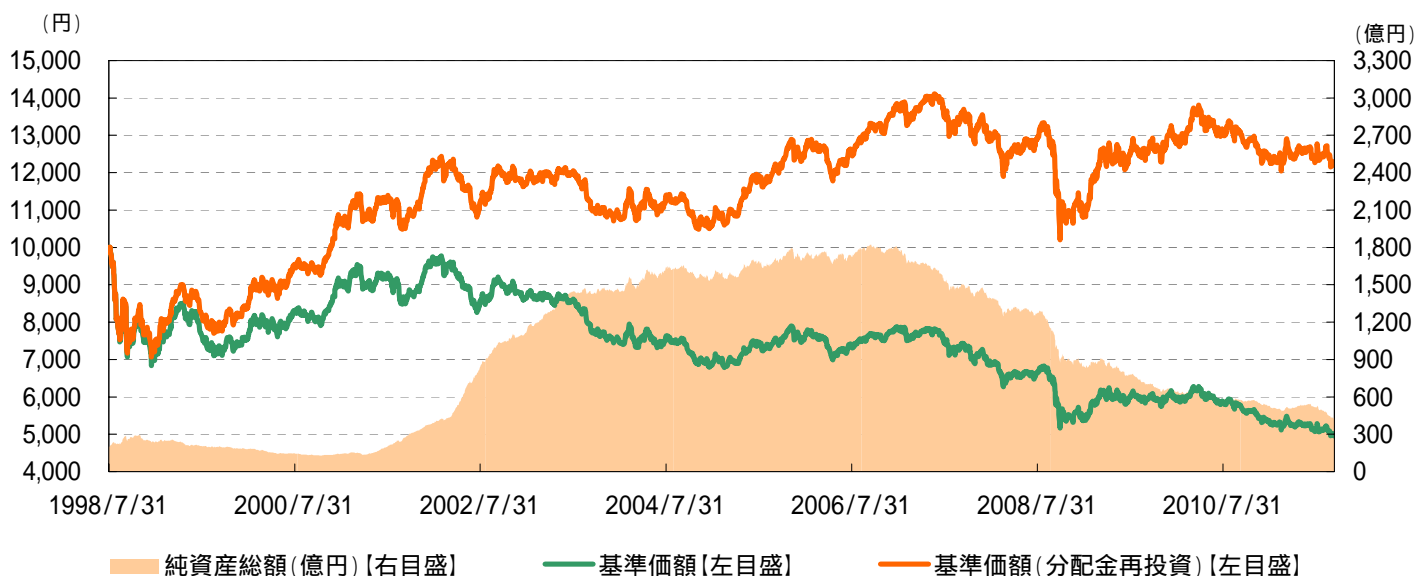


**グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】  
第158期分配金のお知らせ**

追加型投信/海外/債券

平素は弊社商品『グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、当ファンドは10月11日に第158期の決算を迎え、当期の分配金を30円(1万口当たり、税引前)といたしましたことを、ご報告申し上げます。  
なお、設定来の分配金累計は6,612円(1万口当たり、税引前)、決算後の基準価額は4,953円です。

**基準価額の推移 (期間:1998年7月31日(設定日)~2011年10月11日)**


・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。  
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

**分配金実績(1万口当たり、税引前) (期間:第123期(2008年11月)~第158期(2011年10月))**

設定来累計					
6,612 円					
第158期 (11/10/11)	第157期 (11/09/12)	第156期 (11/08/10)	第155期 (11/07/11)	第154期 (11/06/10)	第153期 (11/05/10)
30 円	35 円	35 円	35 円	35 円	35 円
第152期 (11/04/11)	第151期 (11/03/10)	第150期 (11/02/10)	第149期 (11/01/11)	第148期 (10/12/10)	第147期 (10/11/10)
35 円	35 円	35 円	35 円	35 円	35 円
第146期 (10/10/12)	第145期 (10/09/10)	第144期 (10/08/10)	第143期 (10/07/12)	第142期 (10/06/10)	第141期 (10/05/10)
35 円	35 円	35 円	35 円	35 円	35 円
第140期 (10/04/12)	第139期 (10/03/10)	第138期 (10/02/10)	第137期 (10/01/12)	第136期 (09/12/10)	第135期 (09/11/10)
35 円	35 円	35 円	35 円	35 円	35 円
第134期 (09/10/13)	第133期 (09/09/10)	第132期 (09/08/10)	第131期 (09/07/10)	第130期 (09/06/10)	第129期 (09/05/11)
35 円	35 円	35 円	35 円	35 円	35 円
第128期 (09/04/10)	第127期 (09/03/10)	第126期 (09/02/10)	第125期 (09/01/13)	第124期 (08/12/10)	第123期 (08/11/10)
35 円	35 円	35 円	35 円	35 円	35 円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

(注)当資料中のグラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。  
また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】

### 今期決算(2011年10月)における分配金の引下げについて

2009年以降、世界的な景気回復を背景に、相対的に債務比率が低くファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)に改善のみられるエマージング市場に資金流入が続いたことから、エマージング債券市況は堅調に推移し、当ファンドの基準価額はリーマンショック時の大幅下落から回復基調にありました。

しかしながら、昨年末以降、欧州地域の債務問題に対する懸念が再燃したことや、北アフリカ・中東地域の政情不安の高まりを受け、投資家のリスク回避姿勢が高まったことや、米国の連邦債務上限引き上げ問題をめぐる混乱などの影響もあり、為替市況において、主要通貨が円に対して下落(円高)しております。足元では、欧米を中心に世界的に景気減速傾向が強まっており、これまで相対的にファンダメンタルズが堅調であったエマージング諸国にも景気減速の影響が波及する懸念が高まっています。

上記のような経済情勢から、当ファンドの基準価額は昨年末以降、再び下落に転じております。また、エマージング債券の利回り水準は足元低下傾向にあり、利子収入が減少しています。こうした状況下、今般、ファンドの基準価額、分配原資の状況、市況動向等を総合的に勘案し、第158期(2011年10月11日決算)の分配金を30円(1万口当たり、税引前)に引き下げることにいたしました。

### 今後の分配金の見通しについて

次回(2011年11月)以降の分配金につきましても、分配方針にしたがい決定します。今後の市況動向や運用状況によっては分配金額が変更される、あるいは分配金が支払われない場合もあります。したがって、今回の分配金の水準がいつまで継続されるかどうかは、お約束できるものではありません。

【為替市況(円/米ドル)の推移】



【エマージング債券の利回り推移】



エマージング債券の利回りはJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスの利回りを表示しています。

### JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス

JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、エマージング諸国が発行する米ドル建ての債券の代表的な指数です。当指数は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

(注) 当資料中のグラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】

### ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債を主要投資対象とし、長期的な高水準の利子等収益の確保と売買益の獲得をめざします。

#### ファンドの特色

- ・新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債(エマージング・カントリー公社債)を主要投資対象とし、分散投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ります。
- ・各国のファンダメンタルズ分析とクレジット・リスク分析に基づく銘柄選定を基本とします。
- ・機動的に米国国債にシフトすることによって、パフォーマンスの安定性を高めることをめざします。
- ・原則として毎月、収益を分配します。
- ・運用の指図に関する権限は、シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに委託します。
- ・組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。

#### < 主な投資制限 >

- ・外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定します。

### 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

#### 市場リスク

##### (価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

##### (為替変動リスク)

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

#### 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

#### 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

#### カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ投信株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

住友信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 ...三菱UFJ投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会 (社)投資信託協会  
 (社)日本証券投資顧問業協会

**グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】**
**投資リスク**
**その他の留意点**

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

**リスクの管理体制**

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

**手続・手数料等**
**お申込みメモ**

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 - 信託財産留保額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドン証券取引所の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2011年の該当日は1月17日、2月21日、4月22日、4月25日、5月2日、5月30日、7月4日、8月29日、9月5日、11月24日、12月26日、12月27日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2013年7月10日まで(1998年7月31日設定)
繰上償還	受益権の口数が20億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。



## グローバル・エマージング・ボンド・オープン【愛称:受取物語】

### 手続・手数料等

#### ファンドの費用・税金 ・ファンドの費用

**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**

#### お客さまが直接的に負担する費用

##### 購入時

購入時手数料	購入価額×3.15%(税抜3%)(上限) 販売会社にご確認ください。
--------	---------------------------------------

##### 換金時

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.3%
---------	------------------------

#### お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

##### 保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額×年1.596%(税抜年1.52%)
------------------	-------------------------

その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
----------------	---

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り、)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

#### ・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### 当資料のご利用にあたっての注意事項等

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。/投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。/当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

お客さま専用  
フリーダイヤル  0120-151034  
受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<公式サイト> <http://www.am.mufg.jp/>  
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)



**販売会社情報一覧表**

ファンド名称: グローバル・エマージング・ボンド・オープン

商号	登録番号等	加入協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会 / 社団法人日本証券投資顧問業協会 / 社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会